

健感発 0412 第 1 号
平成 30 年 4 月 12 日

各 { 都 道 府 県 }
 { 保 健 所 設 置 市 } 衛生主管部（局）長 殿
 { 特 別 区 }

厚生労働省健康局結核感染症課長

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の相談体制について

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)については、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に対する診断・治療・予防法の開発及びヒトへの感染リスクの解明等に関する研究」（研究代表者：西條政幸）において、抗ウイルス薬であるファビピラビルの安全性及び有効性に関する研究が行われたところです（資料）。

また、別添のとおり、医療機関等から SFTS に関する診療の相談が可能な医療機関がとりまとめられたところです。SFTS は治療法がまだ確立しておらず、早期診断及び早期対応が重要であるため、診療経験のある当該医療機関への迅速な相談をお願いいたします。

つきましては関係機関への周知等を含め、特段の御協力をお願いいたします。